



初めて
だけど、...

大丈夫！研修が充実しています！

日曜日開催もあるので、働きながらも学べます！

ホップ

クリきんとんづくり講座

▶10月／2回開催

食べることからクリのこと学んでみませんか？

栽培見学ツアー

▶8月中旬／日曜日開催

先輩農家さんのクリ園で将来を想像してみませんか？

基本技術講習会

▶1月／第1第2日曜、第2第3水曜

クリ栽培の基本を1日かけて学べます。

クリ新規栽培チャレンジ塾

▶7回／日曜日も開催

クリ栽培について1年間学び、仲間も作りましょう。



クリきんとんづくり講座



栽培見学ツアー



基本技術講習会

ステップ

ジャンプ



産地で支えあう活動も充実！

- 東美濃地域では、東美濃栗振興協議会を中心に各地区に振興会があります。
- 振興会単位でも研修会が開催されるため、相談できる先輩農家さんとお会えます。



収穫期を迎えたクリ



たとえば、

剪定作業受委託・指導制度

剪定技術を認められた農家さんにより、剪定作業受託や指導を受けられる制度です。始めは誰でも技術に自信がないものです。農家さんから直接指導が受けられるのも東美濃地域ならではの。



東美濃栗振興協議会の仲間

一度体験してみてもいい！

東美濃“クリ地産地消(商)拡大”プロジェクトチーム

■ J A ひがしみの営農販売課 TEL.0573-78-0137

■ 恵那農林事務所農業普及課 TEL.0573-26-1111 (代)

J A ひがしみのアグリセンター(中津川、恵那北、恵那、恵南)、(一社)岐阜県農畜産公社農地企画課、中津川市役所農業振興課、恵那市役所農政課、中山間農業研究所中津川支所、恵那農林事務所振興防災課、恵那農林事務所農業振興課

～充実したセカンドライフ～

一緒にクリつくくりませんか？

55歳

退職後について考え始める

クリ植栽！

60歳

退職

収穫開始！

65歳

年金受給

適度な運動で
健康な生活！



やっぱり
クリでしょ!!

東美濃地域は県下最大のクリ産地

生産環境の充実、
販路も確保され安心！

植栽から収穫までに4年

退職直前で植えれば
退職時期には収穫可能！



クリつくってどんな感じ？

体系	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品種
成木の作業体系		▲基肥	▲整枝せん定 防除				▲追肥		▲防除	▲追肥 収穫		▲整枝せん定		筑波、他

クリの木は、基本的に40本/10aで植栽。作業時間は、年間 92時間/10a。作業の大半を秋(9～10月)の収穫と冬(1～3月)の剪定が占めます。

リンゴの場合
302時間/10a

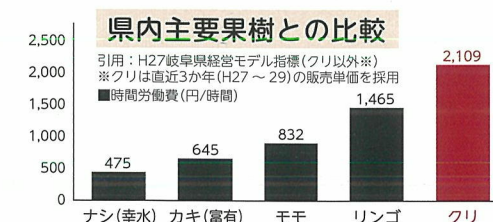
岐阜県では、高齢者・女性の方でも管理がしやすい「低樹高・超低樹高栽培」が確立されています。※詳しくは、内側をご覧ください



所得ってどのくらい？

経営試算は右のとおりです。

超特選栗出荷を想定
植栽後5年以降、10a当たり



項目	数量または金額
販売量	東美濃産地目標 300kg
販売単価	過去3年(H27～29)平均 868円/kg
販売金額	販売金額 260,000円
経費(農薬・肥料・光熱・出荷経費)	66,000円
所得(売上－経費)	194,000円
所得率	75%

※経費には固定費(農機具・未結実期間育成費等)を含めず。



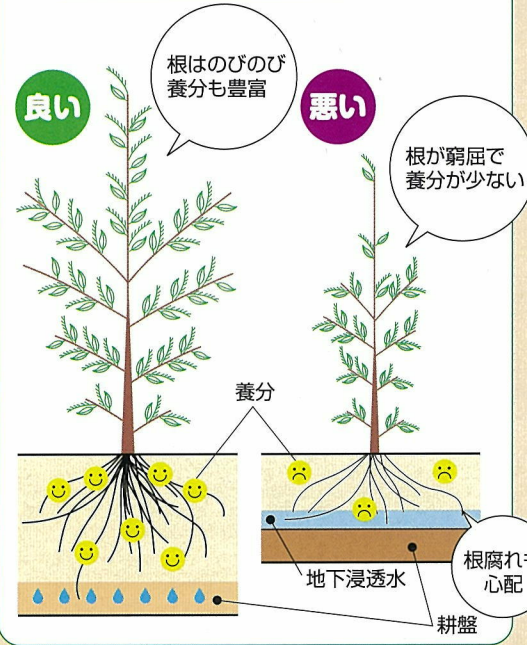
クリ栽培の現況診断と改善ポイント

新たに栽培を始めた

はい

いいえ

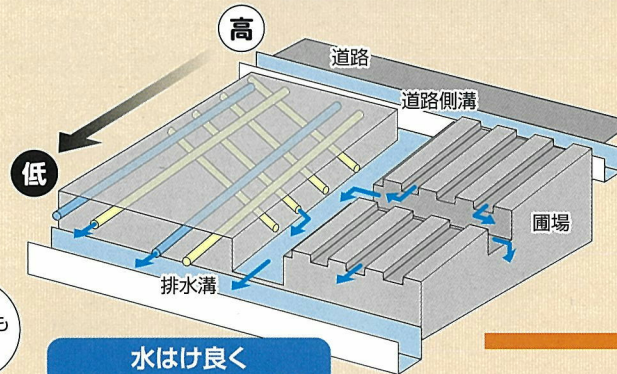
開園の準備（深耕、排水対策）



できるだけ耕土を深く
→深耕（心土破碎）

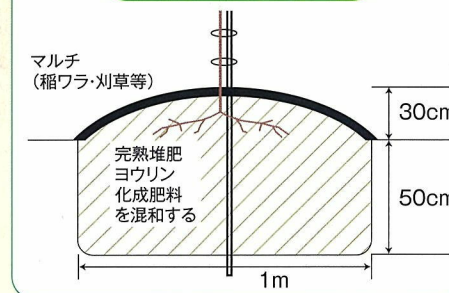


深耕の様子



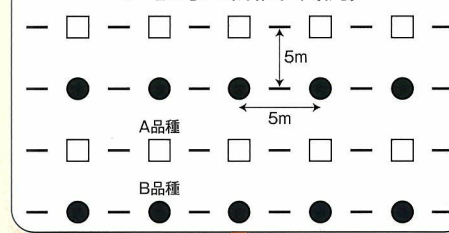
水はけ良く
→排水対策（明渠や暗渠）

苗木の栽植



2品種以上を混植
→盛土し、深植はしない

理想的な栽植図（例）



おすすめの品種

主要品種

副品種

丹沢

たんざわ
早生

9月上旬～中旬
乙宗×大正早生。淡褐色で縞模様
が鮮明な三角形。甘味が多く
美味しい。

筑波

つくば
中生

9月下旬～10月上旬
岸根×はやたま。赤褐色。光沢
ある帯円三角形。適応性が良い
日本の代表的品種。

石鎚

いしづち
晩生

10月上旬～中旬
岸根×笠原早生。赤褐色。光沢
ある円形。台風の影響を受けに
くい優良種。

金華

きんか
早生

9月中旬～下旬
大正早生×金赤。赤褐色。隔年
結果が無く収量も多い。稔から
離れて落実。

大峰

おおみね
早生

9月中旬～下旬
小粒で甘味が強い。豊産で加工
適性に優れる。実が付き過ぎ
るので剪定が必要。

利平

りへい
中生

9月下旬～10月上旬
日本栗×中国栗。暗紫褐色。帯
三角形。甘味が強く品質も高い
が収量が少ない。

クリを栽培している

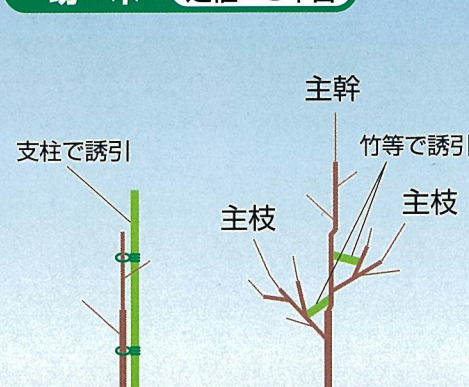
はい

低樹高で管理できている

いいえ

樹齢別の整枝・剪定方法

幼木 定植～3年目



- 支柱を立て主枝を誘引
- 主枝候補枝養成（結実させない）
- 新梢先端を1/3剪除

若木 4～6年目



- 主枝・垂主枝候補枝養成（収穫開始）
- 結果母枝数10～40本／樹（長さ30～50cm、基部径1cm位）
- 弱小枝は全て剪除

成木前期 7～14年目

低樹高栽培

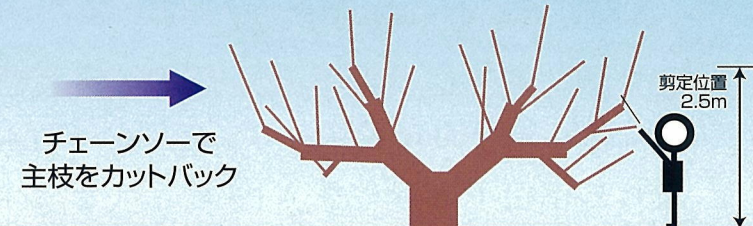


- 主幹を切り戻し（心抜き）、2～3本主枝とする
- 結果母枝数60～70本／樹（樹冠占有面積1㎡当り5～6本）（長さ30～50cm、基部径1cm位）
- 弱小枝は全て剪除

成木後期 15年目～

超低樹高栽培

樹冠占有面積＝樹の広がり（縦×横×0.8）



- 主枝を垂主枝の位置でカットバック
- 結果母枝数20～30本／樹（樹冠占有面積1㎡当り2～3本）（長さ1～1.5m、基部径1cm位以上） ※夏季剪定実施



高木化した放任樹

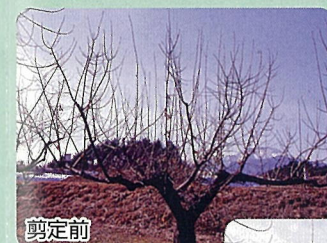
下枝が出ている所で
カットバックして樹形改善

3年かけて低樹高化



カットバック後

年間の生育の様子（超低樹高栽培）



剪定前



剪定後



展葉期



収穫期

夏季剪定実施



夏季剪定前



夏季剪定後